

令和2年度 社会科 2年生 シラバス

学期	月	単元名	単元の目標	時間	観点別学習状況の評価規準				評価方法				
					関	思	技	知	テスト	ノート	ワーク	提出物	観察
1	4 5	3章 中世の日本	武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。	4	関	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。	○	○	○	○	○		
					思	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。	○	○	○	○	○		
					技	中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する図版、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を活用するとともに、追究した結果をまとめたり、説明したりしている。	○	○	○	○	○		
					知	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身につけている。	○	○	○	○	○		
	☆言語活動		武士の起こりから鎌倉幕府滅亡までの政治・経済の発展の様子と時代の特色について、資料を活用して文章にまとめ説明する。								○		
	6 7 9	2章 世界から見た日本のすがた	世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。自然環境の観点から、世界と日本、日本の国内の地域間を比較し関連づけて考察することで、日本の地理的特色を多面的・多角的にとらえる視点や方法を身につけさせる。	15	関	世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	○	○		
					思	世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○	○	○	○	○		
					技	世界と比べた日本の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○	○	○	○	○		
					知	世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきを理解し、その知識を身につけている。	○	○	○	○	○		
	☆言語活動		尾道市の人口ピラミッドと日本の人口ピラミッドを比較し、その特徴をとらえ問題点を考え発表する。								○		
6 7 9	★ 3章 日本の諸地域	日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察をもとにして地域的特色をとらえさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">小単元の時間配当 九州地方 5時間 中四国地方 5時間 近畿地方 6時間 中部地方 5時間 関東地方 6時間 東北地方 5時間 北海道地方5時間 日本をながめて3時</div>	40	関	日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	○	○			
				思	諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や他地域との結びつきなどのいずれかを中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し適切に表現している。	○	○	○	○	○			
				技	日本の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○	○	○	○	○			
				知	日本の諸地域について、自然環境・歴史的背景・産業、環境などを中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	○	○	○	○	○			
☆言語活動		日本の諸地域の地域的特色について、テーマにそって資料を収集し、壁新聞にまとめる。								○			
10	身近な地域の調査	身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見出し、地域の発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。	5	関	身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	○	○			
				思	身近な地域の地理的事象から課題を見だし、身近な地域の調査を行う際の視点や方法をもちに多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	○	○	○	○	○			
				技	身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	○	○	○	○	○			
				知	身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身につけている。	○	○	○	○	○			
☆言語活動		因島の地形図を利用して、因島の土地利用や地形的・地理的特色をとらえ発表する。								○			
2 11 12	4章 近世の日本	織田・豊臣及び江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ、長く続いたことやその社会が行き詰まっていた原因について考えさせる。産業や交通が発達し町人文化や生活文化が形成されていったことを理解させる。	19	関	近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。	○	○	○	○	○			
				思	近世社会の変化や政治の展開から課題を見つけ、世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を公正に判断している。	○	○	○	○	○			
				技	近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する様々な資料を収集し、適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	○	○	○	○	○			
				知	近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を、世界の歴史と関わらせて理解し、その知識を身につけている。	○	○	○	○	○			
☆言語活動		近世社会形成の過程と社会の特色を、図版・史料・年表・地図などから適切に考察し、文章にまとめて発表する。								○			
3 2 3	5章 開国と近代の歩み	欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。明治新政府の改革の特色や立憲制国家の成立、近代産業や近代文化の形成について理解させる。	22	関	近代日本が形成されていく過程を国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	○	○	○	○	○			
				思	近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、その過程や結果を公正に判断して適切に表現している。	○	○	○	○	○			
				技	近代日本が形成されていく過程を様々な資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめている。	○	○	○	○	○			
				知	近代日本が形成されていく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。	○	○	○	○	○			
☆言語活動		明治維新を経て近代国家が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから考察するとともに、図版・史料・年表・地図などから文章にまとめ説明する。								○			
総時数				105									